

2022年10月12日（水）

「水曜サロン with 赤堀会長」第3期 第6回（通算36回）

## GIGAスクール2年目の成功要因と失敗要因

藤村 裕一 氏（鳴門教育大学 教授）

### 1. 内容

- ・全国各地での助言を通じて、成功地域の共通点と失敗地域の共通点について、具体例を交えながら、成功に導くポイントについて解説

### 2. 所感

はじめに、GIGAの活用格差が、これまで以上に、授業の質の格差を生み出していることを改めて感じました。以前の水曜サロンでご紹介いただいた日本ナンバーワンの実践事例を思い出しつつ、1人1台を活用して、教科書を飛び出した遥かにハイレベルな授業を実践している先生達がいる、一方、必要性を感じず、使え使えと言われて、モチベーションが上がらない先生がいる、活用格差という言葉のイメージ以上の問題ではないでしょうか。

この格差は、教育改革の「理念の理解度」と「教師の遊び心」から来るものと認識しました。理念については、世の中の変化を見れば難しくはないですが、伝え方は重要なようで、

「21世紀において情報スキルは、漢字、九九と同じように基礎力であり、教えないでは許されないもの、問題解決と合わせて問題発見の力が、これからの世の中を生き抜く力になる」、これからは読み書きそろばん情報問題発見！ 発散でいいので、子どもが夢中になる楽しい使い方についてプレスト形式の研修が効果がある、教師の遊び心ですね。写真や動画の実践事例、成功事例を紹介すると効果が出るという話もいただきました。

学校内における工夫の点では、ベテラン先生と若い先生がタックを組み、学びあいながら授業案を作るという話もありました。個人的には、型から入るのも良いのかもと思いました。授業案は遊び心たっぷりに支援員にサポートしてもらいチームで作る、GIGA端末活用予定表を貼りだす、あるいは、子どもたちが使って変わればよいので、机の配列を変えてしまう、持ち帰りや授業外時間でも使えるデジタルドリルを準備するなど、これなら先生の精神的負担も少なく始めることもできるのではないのでしょうか。

藤村先生、本日は誠にありがとうございました。脳が活性化する素晴らしい1時間でした。

以上